平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月25日

上場会社名　プラマテルズ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2714　URL　http://www.plamatels.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　正博
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部　部長　(氏名) 山本　倫寛　TEL 03-5789-9700

四半期報告書提出予定日　平成22年11月12日　配当支払開始予定日　平成22年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	27,403	31.1	417	88.1	405	115.5	233	86.7
22年3月期第2四半期	20,901	△29.3	222	△59.4	187	△63.2	125	△55.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	27.31	―
22年3月期第2四半期	14.63	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	22,327	5,815	25.8	674.96
22年3月期	21,877	5,739	26.0	666.56

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期　5,769百万円　22年3月期　5,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	6.00	―	7.00	13.00
23年3月期	―	6.00			
23年3月期(予想)			―	7.00	13.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	18.8	840	26.6	800	28.7	480	23.4	56.15

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	8,550,000株	22年3月期	8,550,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,584株	22年3月期	1,584株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	8,548,416株	22年3月期2Q	8,548,438株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1．平成22年7月28日に第1四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想について、平成22年10月25日付開示資料及び本資料において修正しております。

2．本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)におけるわが国経済は、新興国の需要拡大や消費刺激策(エコカー補助金やエコポイント等)による成長押し上げ効果などにより緩やかな景気回復傾向が見られたものの、雇用、所得環境は、依然として厳しく、長期的なデフレ傾向や株式市場の低迷や円高の進行が続いており、総じて厳しい経済状況の中で推移いたしました。

このような中、当社の属する合成樹脂業界における合成樹脂の基礎原料であるエチレンの当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の生産量は3,327.3千トンと前年同期に比べ186.9千トン減少いたしました(前年同期比5.3%減少)。これは、合成樹脂の国内需要は前年とほぼ同程度であったものの、輸出が伸び悩んだためと思われます。また、当社グループではこのような環境下、国内では既存顧客との商い深耕に努めましたが、商品価格が下落したこともあり、回復のペースは鈍化しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の売上高は27,403百万円（前年同期比31.1%増）、営業利益は417百万円（同88.1%増）、経常利益は405百万円（同115.5%増）、四半期純利益は233百万円（同86.7%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は22,327百万円となり、前連結会計年度末と比べ450百万円増加いたしました。その要因は、受取手形及び売掛金を主とした流動資産の増加額496百万円及び投資有価証券を主とした固定資産の減少額46百万円等によるものであります。また、負債は前連結会計年度末に比べ374百万円増加し、16,512百万円となりました。その要因は支払手形及び買掛金を主とした流動負債の増加額620百万円及び長期借入金を主とした固定負債の減少額246百万円によるものであります。純資産の部は前連結会計年度より75百万円増加し5,815百万円となり、自己資本比率は25.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,835百万円となり、前連結会計年度末と比べ27百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は下記の通りであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動により獲得した資金は385百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益404百万円、仕入債務の増加666百万円等があった一方で、売上債権の増加505百万円、たな卸資産の増加102百万円、法人税の支払額136百万円等があった結果によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動により使用した資金は47百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出34百万円、投資有価証券の取得による支出5百万円等があった結果によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動により使用した資金は340百万円となりました。これは主に短期借入金の減少額329百万円、長期借入金の返済による支出69百万円、配当金の支払額59百万円等があった一方で、長期借入による収入150百万円があった結果によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

政府の景気対策や中国を中心としたアジア向け輸出が牽引し、第2四半期までは順調に海外売上高を増加させることができ、平成22年10月18日の公表の通り第2四半期の業績を上方修正いたしました。一方で長期的なデフレ、急激な円高や株価の大幅安等から、下期の全般的な経済見通しは不透明ではありますが、海外法人における引き続きの好調な業績見通しを踏まえ、平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を以下のとおり修正いたします。連結業績予想の修正については、本日(平成22年10月25日)公表の「平成23年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照下さい。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	56,000	730	690	420	49.13
今回修正予想（B）	56,000	840	800	480	56.15
増減額（B－A）	―	110	110	60	―
増減率（%）	―	15.1	15.9	14.3	―
（ご参考）前期実績(平成22年3月期)	47,145	663	621	388	45.49

上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

１．簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③税金費用の計算

連結財務諸表における重要性が乏しい連結子会社については、経営環境に著しい変化が発生しておらず、一時差異等の発生状況について前年度末から大幅な変更がないため、四半期財務諸表における税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益(累計期間)に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

２．四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

①税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積り実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

１．「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号　平成20年3月10日）を適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

２．資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針21号　平成20年3月31日）を適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

３．「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣布令」（平成21年3月24日　内閣布令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,165	1,902,873
受取手形及び売掛金	16,942,692	16,539,813
商品及び製品	1,080,222	990,126
仕掛品	11,904	5,539
原材料及び貯蔵品	23,823	39,060
繰延税金資産	81,997	86,687
その他	256,840	239,643
貸倒引当金	△23,765	△17,240
流動資産合計	20,282,881	19,786,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	667,764	665,451
減価償却累計額	△425,702	△415,785
建物及び構築物（純額）	242,062	249,665
機械装置及び運搬具	195,916	191,920
減価償却累計額	△172,854	△167,915
機械装置及び運搬具（純額）	23,061	24,004
工具、器具及び備品	102,929	102,806
減価償却累計額	△90,360	△89,059
工具、器具及び備品（純額）	12,568	13,747
土地	220,690	220,690
リース資産	71,132	34,863
減価償却累計額	△21,167	△14,904
リース資産（純額）	49,964	19,958
有形固定資産合計	548,347	528,066
無形固定資産		
リース資産	132,597	156,622
その他	11,480	12,575
無形固定資産合計	144,078	169,198
投資その他の資産		
投資有価証券	979,233	1,065,940
差入保証金	175,555	175,283
繰延税金資産	64,514	36,502
破産更生債権等	47,320	1,747
その他	132,158	114,514
貸倒引当金	△46,705	△495
投資その他の資産合計	1,352,077	1,393,492
固定資産合計	2,044,503	2,090,758
資産合計	22,327,384	21,877,262

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,984,844	11,398,689
短期借入金	2,606,893	2,961,266
1年内返済予定の長期借入金	477,836	139,336
未払法人税等	153,059	134,601
賞与引当金	104,752	98,329
その他	286,149	260,427
流動負債合計	15,613,536	14,992,649
固定負債		
長期借入金	351,660	609,828
退職給付引当金	189,391	183,748
役員退職慰労引当金	39,937	38,570
繰延税金負債	81,334	87,124
その他	236,240	225,766
固定負債合計	898,562	1,145,037
負債合計	16,512,099	16,137,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,050	793,050
資本剰余金	721,842	721,842
利益剰余金	4,320,974	4,147,346
自己株式	△930	△930
株主資本合計	5,834,935	5,661,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,517	137,933
繰延ヘッジ損益	△588	748
為替換算調整勘定	△148,005	△101,941
評価・換算差額等合計	△65,076	36,740
少数株主持分	45,426	41,525
純資産合計	5,815,285	5,739,574
負債純資産合計	22,327,384	21,877,262

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	20,901,570	27,403,144
売上原価	19,611,308	25,793,334
売上総利益	1,290,261	1,609,810
販売費及び一般管理費		
運賃	72,365	98,951
役員報酬	63,260	59,292
給料	328,422	349,404
賞与	－	17,470
賞与引当金繰入額	83,366	74,739
退職給付費用	22,366	31,509
役員退職慰労引当金繰入額	12,866	6,346
福利厚生費	81,776	65,537
旅費及び交通費	33,371	39,560
賃借料	92,834	94,168
支払手数料	63,549	55,922
租税公課	10,684	12,364
減価償却費	39,608	39,001
貸倒引当金繰入額	－	52,734
その他	163,537	194,827
販売費及び一般管理費合計	1,068,010	1,191,830
営業利益	222,251	417,979
営業外収益		
受取利息	654	218
受取配当金	15,926	17,228
仕入割引	299	364
持分法による投資利益	－	18,281
雇用調整助成金	5,618	－
その他	5,374	2,278
営業外収益合計	27,873	38,371
営業外費用		
支払利息	28,920	30,485
手形売却損	5,151	5,931
為替差損	6,329	8,020
持分法による投資損失	16,010	－
その他	5,717	6,772
営業外費用合計	62,130	51,210
経常利益	187,993	405,140

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,862	－
保険解約返戻金	8,483	－
投資有価証券売却益	42,111	68
特別利益合計	58,458	68
特別損失		
固定資産除却損	10	265
関係会社整理損失引当金繰入額	32,600	－
特別損失合計	32,610	265
税金等調整前四半期純利益	213,841	404,942
法人税等	85,750	166,075
少数株主損益調整前四半期純利益	－	238,866
少数株主利益	3,039	5,400
四半期純利益	125,051	233,466

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,841	404,942
減価償却費	48,679	48,061
投資有価証券売却損益（△は益）	△42,111	△68
固定資産除却損	10	265
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14,399	52,734
賞与引当金の増減額（△は減少）	808	6,504
退職給付引当金の増減額（△は減少）	17,871	5,642
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7,422	1,367
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	32,600	－
受取利息及び受取配当金	△16,580	△17,446
支払利息	28,920	30,485
保険解約返戻金	△8,483	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,432,122	△505,084
たな卸資産の増減額（△は増加）	29,265	△102,581
仕入債務の増減額（△は減少）	1,086,788	666,992
為替差損益（△は益）	11	△3
破産更生債権等の増減額（△は増加）	20,313	△45,573
持分法による投資損益（△は益）	16,010	△18,281
その他	126,097	6,782
小計	114,943	534,739
利息及び配当金の受取額	16,580	17,446
保険解約返戻金の受取額	8,483	－
利息の支払額	△28,905	△30,361
法人税等の支払額	△44,360	△136,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,741	385,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,092	△34,014
定期預金の払戻による収入	40,000	－
有形固定資産の取得による支出	△3,797	△4,200
無形固定資産の取得による支出	△5,082	－
投資有価証券の取得による支出	△5,327	△5,483
投資有価証券の売却による収入	132,057	205
貸付金の回収による収入	459	467
差入保証金の差入による支出	△891	△1,955
差入保証金の回収による収入	669	1,542
その他	－	△4,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	133,993	△47,938

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	44,285	△329,574
長期借入れによる収入	－	150,000
長期借入金の返済による支出	△94,668	△69,668
リース債務の返済による支出	△27,469	△29,772
自己株式の取得による支出	△11	－
配当金の支払額	△68,387	△59,838
少数株主への配当金の支払額	△300	△1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,550	△340,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,028	△25,060
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	67,212	△27,722
現金及び現金同等物の期首残高	2,321,537	1,862,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,388,750	1,835,151

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
a. 事業の種類別セグメント情報
前第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日）において、当社及び連結子会社の事業は,合成樹脂関連商品の販売等を事業内容としており、単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

b. 所在地別セグメント情報
前第２四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の所在地別セグメントは以下の通りであります。

	日本（千円）	アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	18,225,970	2,675,599	20,901,570	－	20,901,570
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	369,963	34,316	404,280	△404,280	－
計	18,595,933	2,709,916	21,305,850	△404,280	20,901,570
営業利益	216,376	621	216,997	5,253	222,251

（注）１．国または地域は地理的近接度により区分しております。
２．本邦以外の区分に属する国または地域の内訳は次の通りであります。
アジア・・・中国、香港、シンガポール、フィリピン、ベトナム

c. 海外売上高
前第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日）の海外売上高は以下の通りであります。

	アジア	その他	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	3,470,196	7,240	3,477,437
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	－	20,901,570
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.6	0.0	16.6

（注）１．国または地域は、地理的近接度により区分しております。
２．各区分に属する国または地域の内訳は次の通りであります。
（１）アジア・・・・中国、香港、台湾、フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、
（２）その他・・・・英国、ブラジル
３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

【セグメント情報】
当社及び連結子会社の事業は、合成樹脂関連商品の販売等並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）
第1四半期連結累計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21　年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年3月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。